

## 大切なお客様情報の漏洩リスクを抑制し、社員のセキュリティ意識の向上に。

### 導入会社プロフィール

- 人数：約3,600名 (グループ全体)
- 導入事業所数：12拠点
- 事業概要：化粧品事業、栄養補助食品事業を2本柱とし、研究から開発、販売、サポートを実施しています。



### 背景

- 導入企業様が守りたいデータとは？
  - 消費財を扱う企業であるゆえ、大切なエンドユーザ様の個人情報。
- 導入目的は？
  - 顧客情報の漏洩リスクの回避
  - 社員のセキュリティ意識の向上
  - なりすましの回避

### 導入製品

S2 及び 他、弊社指紋認証製品



### 導入効果

「本人であることの証明が簡単に、指一本でのログインが可能になった。また社員がID、パスワードを覚えなくて済むようになった」

「入社時から指紋認証でログインしている社員はID、パスワードを覚えていません。これは、そのPCに他人がログインできる可能性を限りなく低くしています」

「S2を利用すれば他の拠点への出張時などに自分のPCがなくても、他のPCから指紋でログインし、ネットワーク上のデータ呼び出せるようになった」

「USBメモリのように簡易に持ち運べ、容易に本人を認証してログインができるので、重いPCを持ち運ばなくても業務が安全に履行できます」

### 採用理由

- ノートPC主体で業務を推進するため、コンパクトで携帯性が優れているものを選択。
- 真皮指紋センサは、登録、認証が困難であった従来のユーザに対して有効であったこと。
- 万が一PCに故障などが発生した場合に装置が抜き取れる利便性、UIMカードの利用による再登録の必要が無い簡易性に着目。これは管理者にとって対応しやすく、社内展開の容易さが魅力です。

Q「管理者として指紋認証を導入する狙いがありましたらお願い致します」

A「私共が考えるセキュリティとは、『入口と出口』になります。『入口と出口』さえしっかりしていれば、たとえ、中で何をしようとも情報の漏洩は防げますし、中までも縛ってしまうと業務効率が落ちてしまいます。当社では『入口』に『指紋認証製品』を『出口』に『セキュリティ暗号化ソフト』を用いました」

Q「指紋認証製品というと、社内での導入にあたりインパクトが強く、反発や抵抗が強かったのではないのでしょうか？」

A「世間では個人情報漏洩という事件が頻繁に起こっていた為、消費財を扱う企業として、経営陣からの意識が高く、まずは経営レベルでの委員会が設置されました。私が経営陣に提案した時の回答も、セキュリティ意識の高さから来るかと思いますが、『それしかない』ということで経営陣は納得しました」

## □ 導入イメージ図



社内ノートPCへのS2の導入

Q「数あるセキュリティ製品のなかで指紋認証を選択された理由を教えてくださいませんか？」

A「情報漏えいする可能性としては『外部から』と『内部から』の2種類しか無い訳ですが当社では入退室管理装置を導入していることもあり、外部からの侵入というのは現実的に難しく、余り心配はしていません。ただし、『内部から』ということに、とても気を配っています。といっても当然、社内の人間を信用していない訳ではありません。

私が心配しているのは、もし万が一、事件が起こった場合に、そしてそれが『ID、パスワードの盗難によるなりすましであった場合』、『なりすましの被害にあった方』を調査しなければいけないこと、そして『それを見分けることができるか』、また『なりすましの実行犯を見つけられるか』といった様々な悩みが浮上することです。

なりすましであると被害者の方が仰っても、その方が利用されているPCを監視カメラでも使って逐一監視しなければ立証することもできません。管理者にとっては、なりすましが行われてしまった後のことを考えると、事前になりすましを防ぐ手段を用いたいと考えます。そしてそれに合致するのが指紋認証ではないかと考えた次第です。